

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-01-03
事務事業名	施設見学会事業		
事業開始年度	平成9年度～		
大項目	基本目標	問合せ先	担当課(室) 総務課
中項目	基本施策	職・氏名	秘書広報係長 入江章行
小項目	施策	電話	64-1800

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市民レベルで組織された各種任意団体・サークル等
目的(何のために)	市民参加の行政を進めるうえで、市民の市政に対する理解・協力は必要不可欠なものである。そこで市民に市内の公共施設等を見学してもらい、市政に対する理解と関心を深めていただくため。
行政活動(どのような方法で)	15人以上(25人未満)の団体等の申込により、半日市内公共施設等を市のバスで案内し、担当者などから施設の業務内容や利用方法などを説明する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	合併による市域拡大により、開催回数と参加人数が増加することで、旧市町、地域間の理解と、市政運営の理解と協力を資する。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
開催回数	回	6	6	6
参加人数	人	123	118	122
見学箇所	箇所	17	14	12
直接事業費	千円	1,570	708	93
事業費計		1,570	708	93
国県支出金				
受益者負担				
市一般財源	千円	1,570	708	93
必要人員	人	0.20	0.09	0.01
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
開催回数	説明			
結果指標量	回	6	6	6
対前年比	%	-	100.0%	100.0%
活動コスト	円	1,570,000	708,000	93,000
単位当たりコスト	円	261,667	118,000	15,500
結果指標量	説明			
対前年比	%	-		
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	開催率(%)	式又は説明	(開催数÷申込数)×100
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	100	100	100
対前年比		100.0%	100.0%
到達目標値	100	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的達成性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E>	C
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	課題認識
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	市の関与	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である
	効率性の評価		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある
手	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A-E>	D
	市民参画度		課題認識

平成20年度の状況		説明	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している
<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		より多くの市民に参加してもらうため、広報びぜん4月号に掲載するとともにホームページに見学時の写真を掲載し周知を行った。今後は、見学内容について理解を得られたかアンケートをとる。
目標値	8	結果指標量	100

総合評価		評価区分<A-E>	C
市内公共施設等を市のバスで案内し、直接施設の業務内容や利用方法などを理解してもらっており有効性は高く、参加者からは好評である。しかしながら、旧備前市で平成9年度から行っているため、利用が旧備前市の団体等に偏る傾向があり、18年度吉永地域1団体、19年度日生地域1団体となっている。なお、制度の趣旨を理解せず申し込みに来る場合があるので、利用の促進とともに制度の趣旨も周知する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	事業内容の公表	平成21年度	参加者に事業の趣旨を認識してもらうこと、これから利用しようとする意識を高められる。

